

学校評価（自己評価）公表シート

学校法人千歳学園 第二メリー幼稚園

1. 本園の教育目標

豊かな情操教育を養うことができるように、四季の自然を取り入れ、幼児のもつ無限の能力を引き出し、心身の調和ある発達をめざして、環境づくりと集団の中で「明るく、賢く生きる」力を育む。

1. 丈夫でたくましくよく遊ぶ子ども
2. 誰とでもなかよくでき、お互いの気持ちを尊重できる子ども
3. 自分の気持ちを素直に表現できる子ども
4. 物事に積極的に取り組み最後までやり遂げる子ども
5. 豊かな感性をもつ子ども

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標や計画をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

評価項目を設定し、それに沿って自己点検、自己評価を実施し、教職員が客観的に自園を見る目を養い、施設の点検と改善、教育内容の改善に主体的に取り組んでいくことを重点項目とする。

3. 評価項目の達成および取り組み状況

評価項目	取組状況
幼稚園教育要領が改訂されたことを踏まえ、幼稚園の教育理念・方針にしたがい教育課程を編成している。	教育課程の説明会や研修会などに園長や主任が出席し、また新教育要領の理解のために新たに加筆された部分に下線を引き、考慮して教育課程の編成にあたっている。
指導計画は、教育要領、教育課程、子どもの実態などをもとに作成する。	毎年指導計画を訂正し、子どもの実態に即した内容になるように話し合いながら作成している。
子どもの実態を的確につかみ、具体的な手立てを講じる。	教師は毎日の観察や記録をもとに子どもの実態を把握し、話し合いながら具体的な実践に努めている。また、毎月外部講師により、子どもの実態や保育状況の評価・指導のもとに取り組んでいる。
毎月、各クラスの経営の成果と課題を報告し、確認する。	各クラスで月や週の目標を定め、毎月達成状況を報告し合うようにしている。
子どもの良さを認めて評価しようとしている。	一人一人の子どもの良さを認め、教師が客観的に見る目を養うように努めている。
あそびを通して工夫したり、協力したりする姿が見られる。	自分で工夫して遊べ、それが発展して友だちと協力して遊べる環境を工夫するようにしている。
規則正しい生活習慣の定着に向けての指導を行う。	一日の流れの中で、その時々身につけてほしい生活習慣の獲得を促している。
教育の質の向上のために、園内研修を充実させる。	毎月、職員会で幼児の発達の姿をとらえるために研修や情報交換をしている。
園だよりや各種研修会をとおして幼稚園の情報を発信していく。	園の教育方針や取り組みを園だよりやホームページに掲載し、パンフレットを作成するなど積極的に取り組んでいる。
保護者のニーズの把握のために、要望や苦情に適切に対応をはかる。	懇談会や参観日、園長懇談会を実施し、運営や行事等の意見を聞き園の考えも示しながら改善に取り組んでいる。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

学校評価についての数度の研修で、教師一人一人が学校評価の主旨を理解し、適切に自己点検、自己評価に取り組む姿が見られた。今後も客観的な目で自らの教育、保育を振り返り、一層充実した実践を重ねていきたい。

施設面でも、子ども達が安心、安全に遊べるように環境整備に取り組んでおり、概ね目標を達成できた。

5. 今後の取り組むべき課題

課 題	具体的な取り組み方法
安全教育と安全管理	園児への安全教育の計画と、不審者情報が市教育委員会や警察から、随時提供されるようになってきたが、それに対する園での対応の訓練と危機管理のマニュアルの徹底と教員の意識の向上を図る。
自己点検、自己評価	基本的な項目を点検課題として設定したが、各教職員においてはさらに課題を設定し、研鑽に取り組む。
指導計画の編成	引き続き、新幼稚園教育要領をふまえ教育計画に加筆加えつつ、園を取り巻く環境や子どもの実態に即した指導計画をめざしていく。

6. 学校関係者の評価

委員からは、概ね良好な運営であると認められる。

7. 財務状況

公認会計士の監査により、適正に運営されていると認められている。